



「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について

平成31年3月

環境省

「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」について

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（東京2020組織委員会）は、2017年4月から2019年3月31日までの期間で東京2020大会で使用するメダルについて、使用済み小型家電リサイクル由来の金属から製作する「都市鉱山からつくる！みんなのメダルプロジェクト」を実施しています。環境省では、小型家電リサイクル制度を活用して取り組まれるこのプロジェクトを循環型社会づくりに繋がるレガシーとすべく、地方自治体の協力を得て、本プロジェクトを推進しています。



※メダルは東京2020組織委員会が制作します。

■ 都市鉱山リサイクルをレガシーとして「持続可能な社会」の実現を目指しています。

日本に眠る都市鉱山（使用済製品等に含まれる有用資源等）の埋蔵量は、世界の天然鉱山を凌ぐ量があります。メダルプロジェクトを通じた都市鉱山リサイクルの成果をレガシーとして、2019年4月以降の小型家電リサイクル制度の普及促進に活用していきます。

■ 使用済み小型家電のリサイクルを通じて、東京2020大会に参画できるプログラムです。

ご家庭で不要になった携帯電話・パソコン・デジカメ等、小型家電リサイクル法の全品目が対象です。国民は、使用済み小型家電を、メダルプロジェクト用の回収方法へ排出することで、東京2020大会に参画できる国民参画形式のプロジェクトです。回収・処理等については、小型家電リサイクル法のスキームを通じて実施します。

■ オリンピック史上初の試みです。

国民が参画し、メダル製作を目的に小型家電等の回収を行い、集まったものから抽出された金属でメダルの製作を行うプロジェクトは、オリンピック・パラリンピック史上、東京2020大会が初めてとなります。

リサイクルメダルに関するデータ

メダル制作に最低限必要な原材料（オリンピック・パラリンピック合算）

メダルの種類	製造個数	金	銀	銅
金メダル	1,666	10kg	616kg	40kg
銀メダル	1,666	-	616kg	50kg
銅メダル	1,666	-	-	646kg
金属合計重量 (kg)	-	10kg	1,233kg	736kg
（参考）歩留まりを考慮した必要量	-	約30kg	約4,100kg	約2,700kg
2017年4月～2018年10月までの回収量と達成率	-	28.4kg (93.7%)	3,500kg (85.4%)	2,700kg (100%)

※ メダルはオリンピック・パラリンピック合計5,000個分を想定。

※ メダルの重さ・組成はロンドン大会のメダル(1個400g)のもの。（リオ大会のメダルは1個500g）

※ 製造時の歩留まりは4倍程度を想定。

これまでの環境省のメダルプロジェクトの取組

- ①全国1,741市町村に携帯電話回収ボックスを配布。
- ②自治体や日本百貨店協会等、業界団体と連携した環境省主催のプロジェクト普及イベントの開催。
- ③全国知事会、市長会、町村会等に協力を要請し、地方自治体での回収支援として、回収ボックス、のぼり等の配布、イベントのサポートを実施（アスリートの派遣を含む。）。
- ④全国各地の商工会議所、商工会（約1,600ヶ所）に携帯電話回収ボックス等を配布。
- ⑤全国各地の郵便局3,500局に携帯電話回収ボックスを設置。
- ⑥プロジェクトの認知度の向上のために、PR動画を作成しメディア等で展開。
- ⑦家電量販店等での回収スキーム構築。
- ⑧トヨタ自動車の販売店等約6,000ヶ所での回収。
- ⑨各省庁舎での回収ボックス設置（リレー形式）。
- ⑩内閣官房東京オリンピック・パラリンピック推進本部事務局との共同展開により、オリパラホストタウン自治体の小中学校等に、回収ボックス設置及び普及イベント開催。
- ⑪自治体向けメダルプロジェクト説明会を全国の7ヶ所で開催。
- ⑫問い合わせ専用電話設置（カスタマー対応強化）。
- ⑬2018年11月より東京メトロ34駅、東武鉄道沿線14駅に回収ボックスを設置。

メダルプロジェクトの機運を捉えたイベント回収の実施

- メダルプロジェクトの機運を捉え、日本全国でイベント回収を実施し、小型家電リサイクルの普及を図る。



【北海道 幌延町】



【東京都 渋谷区】



【埼玉県 所沢市】



【愛知県 名古屋市】



【高知県 高知市】